

腫瘍・診断病理学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Eto R, Kawano H, Matsuyama-Matsuu M, Matsuda K, Ueki N, Nakashima M, Okano S, Ishijima M, Kawakatsu M, Watanabe J, Yoshimuta T, Ikeda S, Maemura K: Ubiquitin, p62, and Microtubule- Associated Protein 1 Light Chain 3 in Cardiomyopathy. Circulation Reports 5(8): 323-330,2023. doi: 10.1253/circrep.CR-23-0058. (IF: 3.1)
2. Matsuu-Matsuyama M, Shichijo K, Tsuchiya T, Nakashima M: The effects of cystine and theanine mixture on the chronic survival rate and tumor incidence of rats after total body X-ray irradiation. Journal of Radiation Research 64(4): 738-742,2023. doi: 10.1093/jrr/rrad047. (IF: 1.9)
3. Kawasaki K, Kai K, Tanaka N, Kido S, Ibi A, Minesaki A, Yamauchi M, Kuratomi Y, Aishima S, Nakashima M, Ito M: Collision tumor of a papillary and follicular thyroid carcinoma: a case report. Thyroid Research 16(1): 24,2023. doi: 10.1186/s13044-023-00167-3. (IF: 1.9)

B 邦文

B-a

1. 中島正洋：高異形度濾胞細胞由来非未分化癌：低分化癌と分化型高悪性度癌. 日本内分泌外科学会雑誌 40(2): 105-109, 2023.
2. 高松紘子、磯本一郎、田崎裕太郎、高橋 元、中島正洋、上谷雅孝：好酸球性膀胱炎の1例. 臨床放射線 68(4): 413-417, 2023.
3. 松田勝也、田中 圭、金子洋平、原 拓也、里 翼、久保 綾、高木雄三、市来奈津子、片渕 直、田中義成、寺坂正樹、中島正洋：長崎県における子宮頸部細胞診 atypical glandular cells (AGC) の現状と課題. 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌 54: 13-17, 2023.

B-c

1. 中島正洋：甲状腺癌取扱い規約 第9版. 金原出版：2023.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	8	1	4	0

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
中島正洋・教授	評議員	日本病理学会
中島正洋・教授	理事	日本内分泌病理学会
中島正洋・教授	疫学部顧問	(財)放射線影響研究所
中島正洋・教授	理事	日本臨床細胞学会九州連合会
中島正洋・教授	会長	長崎県臨床細胞学会
中島正洋・教授	長崎県子宮がん委員会 委員	長崎県保健医療対策協議会がん対策部会
中島正洋・教授	長崎県がん登録委員会 委員	長崎県医療政策課
中島正洋・教授	代議員	日本細胞診断学推進協会
中島正洋・教授	理事長	日本甲状腺病理学会
中島正洋・教授	理事	長崎原子爆弾後障害研究会
中島正洋・教授	委員	日本甲状腺学会
中島正洋・教授	委員	日本内分泌外科学会
中島正洋・教授	甲状腺病理委員	日本内分泌外科学会
中島正洋・教授	理事	長崎県大学医師会
中島正洋・教授	常任理事	長崎大学医学部医学科
中島正洋・教授	長崎原爆資料館運営審議会委員	長崎原爆資料館

中島正洋・教授	長崎市原子爆弾被災資料審議会委員	長崎原爆資料館
中島正洋・教授	疾病・障害認定審査会臨時委員	厚生労働省
中島正洋・教授	広島大学原爆放射線医学研究所客員研究員	広島大学
中島正洋・教授	日本病理学会 診断病理 編集委員	日本病理学会
松田勝也・准教授	評議員	日本臨床細胞学会
松田勝也・准教授	理事	日本臨床細胞学会九州連合会
松田勝也・准教授	副会長	長崎県臨床細胞学会
松田勝也・准教授	会長	長崎県細胞検査士会
松田勝也・准教授	評議員	日本病理学会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
中島正洋・教授	日本学術振興会	代表	基礎研究(C) 甲状腺がんの組織構築のheterogeneityを考慮した予後不良形質の分子病理
松田勝也・准教授	日本学術振興会	代表	基礎研究(C) 甲状腺濾胞性腫瘍の術前細胞診断を可能とする53BP1発現型の定量解析
Mussazhanova Zhanna・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 甲状腺がん未分化転化に至る形態学的構造の分子病理学的in situ解析
中島正洋・教授	日本学術振興会	分担	基礎研究(C) Colitic cancerの発症予測を可能とする腸管幹細胞のゲノム不安定性解析
中島正洋・教授	日本学術振興会	分担	基礎研究(C) 乳癌における新規リンパ節転移診断キットの術前薬物療法症例への適応拡大
松田勝也・准教授	日本学術振興会	分担	基礎研究(C) Colitic cancerの発症予測を可能とする腸管幹細胞のゲノム不安定性解析

その他

非常勤講師

氏名・職	職(担当科目)	関係機関名
松田勝也・准教授	非常勤講師(病理学)	長崎市医師会看護専門学校
松田勝也・准教授	非常勤講師(病理学)	向陽高等学校看護専攻科

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
松田勝也・准教授	子宮頸がん啓発企画 2023 LOVE49 プロジェクト	NBCラジオ	2023年4月6日	NBCラジオ「チャージ」で子宮頸がん検診やHPVワクチンの重要性を解説した
中島正洋・教授	長崎原爆資料館リニューアル専門家小委員会が始動 新たな展示方法について意見交わす	長崎新聞	2023年7月28日	長崎原爆資料館の展示内容のリニューアルが予定されている。その方向性について、専門家の立場で、市の担当者との意見交換した。
中島正洋・教授	ヒロシマとナガサキの後：命を狙われ非合法化	German Medical Journal	2023年8月7日	ドイツ医学会から医師が来訪し、インタビューを受け、原爆被爆者の研究について説明した。その内容がドイツ医学会雑誌に掲載された。

中島正洋・教授	長崎市で放射線医療をカザフスタンに医療従事者が研究	NBC長崎放送	2023年8月20日	長崎ヒバクシャ医療国際協力会（NASHIM）の専門家研修としてカザフスタンから医療従事者を招聘し、原研と大学病院で研修事業をこなった。
中島正洋・教授	原爆投下に至る歴史 加害と被害の両面から議論 原爆資料館リニューアル運営審議会小委員会	長崎新聞	2023年8月25日	長崎原爆資料館の展示内容のリニューアルが予定されている。その方向性について、専門家の立場で、市の担当者との意見交換した
中島正洋・教授	原爆投下、歴史認識を議論 資料館展示 小委員会	毎日新聞	2023年8月25日	長崎原爆資料館の展示内容のリニューアルが予定されている。その方向性について、専門家の立場で、市の担当者との意見交換した
中島正洋・教授	長崎原爆資料館の原爆投下に至る歴史展示を議論	KTNテレビ長崎	2023年8月25日	長崎原爆資料館の展示内容のリニューアルが予定されている。その方向性について、専門家の立場で、市の担当者との意見交換した
中島正洋・教授	被爆80年に向け資料館展示リニューアル 審議会で議論	朝日新聞デジタル	2023年8月25日	長崎原爆資料館の展示内容のリニューアルが予定されている。その方向性について、専門家の立場で、市の担当者との意見交換した
中島正洋・教授	若い世代への伝え方議「自分事」「双方向」キーワードに	長崎新聞	2023年9月20日	長崎原爆資料館の展示内容のリニューアルが予定されている。その方向性について、専門家の立場で、市の担当者との意見交換した
Kerimbayeva Adiya・大学院生	第2回「核なき未来」オピニオン 長崎大RECNA 最優秀賞作品「核兵器のない未来」	長崎新聞	2023年9月24日	RECNA主催の第2回「核なき未来」オピニオンに応募し、最優秀賞を受賞した。カザフスタンからの留学生の受賞。
中島正洋・教授	患者の臓器標本からは今も放射線「葉害」伝える資料、全て保管し引き継げるかどうか...	信濃毎日新聞	2023年10月20日	トロトラスト症という希少剖検例のバイオバンクについての紹介で、取材に協力した。

学術賞受賞

氏名・職	賞の名称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
中島正洋・教授	Best foreign leader for PhD students from Semey Medical University.	The XVI International Scientific and Practical Conference "Ecology, Radiation, Health" dedicated to the 70th anniversary of the Non Commercial Joint-Stock Company "Semey Medical University"	Biomaterials of Atomic bomb survivors in Nagasaki. Molecular pathologic analysis for radiation-induced thyr-oid carcinogenesis with a rat model.
上田真由・大学院生	第8回JES We Can九州支部賞	第23回日本内分泌学会九州支部学術集会	Molecular Pathological Characteristics of Thyroid Follicular-patterned Tumors Showing Nodule-in-nodule Appearance with Poorly Differentiated Component
Kerimbayeva Adiya・大学院生	U30-部 最優秀賞	第2回「核なき未来」オピニオン	核兵器のない未来